

平成25年11月12日

各 位

上場会社名 株式会社スーパー大栄  
 代 表 者 代表取締役社長 中山 勝彦  
 (コード番号 9819)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 阪本 博美  
 (T E L 093-602-2770)

平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績  
 予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じ、また、最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月期通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。加えて、配当予想についても修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

●第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正について

平成26年3月期 第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	11,600	30	20	20	2.78
今 回 実 績 値 (B)	11,477	△48	△62	△107	△14.92
増 減 額 (B-A)	△122	△78	△82	△127	
増 減 率 (%)	△1.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	12,060	28	16	△23	△3.27

平成26年3月期 通期業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	23,300	120	100	100	13.90
今 回 修 正 予 想 (B)	23,000	10	△10	△50	△6.95
増 減 額 (B-A)	△300	△110	△110	△150	
増 減 率 (%)	△1.3	△91.7	—	—	
(ご参考)前 期 実 績 (平成25年3月期)	23,853	125	103	85	11.87

## 差異及び修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高は、前回予想に対しては1億22百万円(1.1%)の減少となります。

これは、平成25年3月、当社の中核店舗である生鮮ディスカウントの「フレッシュ8店舗」が集積する圏内に大型店が進出、競合店もその対策として、採算を度外視した低価格路線で対抗した結果、圏内の価格体系が崩壊し、当社も大きな影響を受けました。さらに、例年のない異常気象の影響で、生鮮食品の仕入原価が高騰した上、品不足も重なり、計画通りの売上高が確保できず前回予想を下回ることとなりました。営業利益、経常利益におきましては、ローコスト経営の基本路線を堅持し、引き続き、販管費の削減と仕入れコストの抑制を図りましたが、売上高減少による収益力の未達をカバーすることができませんでした。さらに、四半期純利益につきましても、以上の理由に加え、閉鎖店舗の減損損失及び法人税等調整額を計上した結果、上記に記載のとおり、前回予想を下回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの影響などから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益については、上記のとおり下方修正するものです。

## ●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成25年5月15日発表)	—	0.00	—	3.00	3.00
今 回 修 正 予 想	—	0.00	—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00	—		
前 期 実 績 (平成25年3月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

## 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。その一環として、安定的な利益基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、経営上可能な限り最大の範囲で株主に配当還元を行うことを基本方針としておりますが、平成26年3月期の期末配当予想は収益力の改善や業績向上に向けた諸施策に取り組んでも、当初の業績予想を下回る見込みであることを踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当予想を無配とさせていただきます。

株主の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、早期の復配を目指して社員一丸となって努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以 上